１１．卒後教育:教育研修部（卒後教育研修センター）

卒後教育研修センター構成メンバー

近藤（センター長/プログラム責任者：救急集中治療科）、富田（顧問/副院長：循環器内科）、飯田（教育研修部長：血液内科）、安藤（副センター長：総合内科）、秋田（副センター長：小児科　9月迄）、小暮（副センター長　10月より：呼吸器内科）、宇田（指導医：外科）、谷口（指導医：腎臓内科）、小野（小児科　10月より）、大橋（指導医：脳神経内科）自見（指導医：救急集中治療科）、上野（教育専任看護師長）、石井（レジデント代表5年目）、宮原（レジデント代表4年目）、龍見（レジデント代表3年目）、田中（管理課長）、岩田（職員係長）、川原（事務）、紺野（事務）、小原（事務）、菱田（事務）、山本（事務）

研修医確保に関する取り組み　（表1、表2参照）

例年、全国各地で開催される医学生・研修医に対する研修病院合同説明会（民間医局レジナビフェア他）に参加しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により現地会場での開催はされなかったため、オンラインで開催された合同説明会等に参加した。当院主催の医学生向けの病院説明会についてもオンラインでも参加ができるようにし、6月に来場33名、オンライン46名、12月にオンラインのみで22名の参加者があった。説明会後に見学申し込み者が3名前後あり、6月の参加者の中から39名が受験し、11名が採用となった。また、見学についても新型コロナウイルス感染症の流行により制限せざるを得ず、令和2年度の見学者総数は147名（内21名はオンラインでの診療科説明）と昨年度の195名より減少した。また、令和2年度より病院広報活動として卒後教育研修センターのtwitterやfacebookアカウントを開設し、勉強会や研修の様子を随時発信した。このことはコロナウイルス感染症流行下において学生への情報発信として重要な役割を果たしたと考える。8月に行われた令和3年度初期臨床研修医採用試験では、定員14名の募集に対して54名の応募がありフルマッチした。そのうち2名が辞退となり、2次募集にて1名を採用した。

表1　卒後教育研修センターの活動

令和２年度初期研修医採用	4/27	採用試験（面接）
令和３年度初期研修医採用	8/14、8/15	採用試験（小論文、面接試験、SPI）
令和３年度後期研修医採用	7/28、8/4 8/25, 9/8	採用面接
病院見学受け入れ	R2.4/1 R3.3/31	※見学学生の詳細は表２参照
病院説明会	6/21、12/5	研修医や専攻医による病院や研修の紹介、救急集中治療科医師によるER紹介など
研修病院合同説明会	11/13	レジナビフェアオンライン中部Week　（視聴者数33名）
	3/22	レジナビフェアオンライン東海Week　（視聴者数60名）
研修医オリエンテーション	4/1～ 4/10	病院の概要就業規則説明、研修プログラムの説明、縫合練習、ICLS、診療各科説明会、電子カルテ実習、多職種体験、ローテーション決め、他
卒後教育研修センター 会議	毎月１回 実施	4/27、5/25、6/18、7/20、9/17、10/26 11/19、12/21、1/21、2/22、3/18

研修医個人面談	第１回	5/18-6/8
	第２回	12/7-12/23
研修管理委員会	11/26	研修プログラムの改訂等
	3/10	規定の改訂、修了判定
ＣＰＣ　　（実施４回）	5/20-6/3	気管支喘息に対してステロイドを投与中の感染症死が疑われた１例
	7/21-8/6	アミロイドーシスを合併して肺がんの１例
	1/25-2/22	エンドキサンパルスを施行したが呼吸不全が進行した間質性肺炎の１例
	2/22-3/22	急性心不全を発症した術後再発膵癌の１例
研修修了発表会	3/6	ベストプレゼンテーション賞：梅村　卓磨
修了証書授与式	3/23	ベスト研修医賞：菊井　創 ベスト指導医賞：自見　孝一朗

表2　見学学生の詳細

R2 年度見学者　診療科別内訳			
診療科	人数	診療科	人数
血液内科	11	外科	1
感染症内科	1	救急集中治療科	0
腎臓内科	7(2)	ER	21(6)
膠原病内科	3	心臓血管外科	0
糖尿病・内分泌内科	9(2)	整形外科	4
総合内科	13(2)	脳神経外科	9(3)
精神科	0	皮膚科	0
脳神経内科	12(1)	泌尿器科	0
呼吸器内科	4(1)	眼科	0
消化器内科	21	耳鼻咽喉科	0
循環器内科	16(2)	呼吸器外科	0
小児科	5	乳腺外科	1
産婦人科	0	腫瘍内科	7(2)
麻酔科	2	放射線科	0
合 計　147(21)名			

R2 年度見学者学年別内訳					
	6 年	5 年	4 年	既卒（研修医含）	見学総数
4 月	4	0	0	1	5
5 月	0	0	0	1	1
6 月	14	1	0	3	18
7 月	29(5)	2	0	4	35(5)
8 月	4(4)	8(8)	0	1(1)	13(13)
9 月	0	6	0	1	7
10 月	0	4(1)	0	1	5(1)
11 月	0	3	0	1	4
12 月	0	19	2	0	21
1 月	0	10	3	0	13
2 月	1	1(1)	0	0	2(1)
3 月	0	18	4	1(1)	23(1)
合計	52(9)	72(10)	9	14 (2)	147(21)

( )内はオンラインでの診療科説明の人数

年度別見学者数

30 年度	31 年度	2 年度
174 名	195 名	147(21)名

平成31年度初期研修医の進路

平成31年度採用初期研修医14名の進路は、当院の内科6名、外科1名（以上、基幹プログラム）泌尿器科1名

（連携プログラム）、他施設へは内科3名、小児科1名、病理1名、精神科1名であった。

勉強会・講習会

表3に示すように、研修医対象の勉強会やカンファレンスなどを開催した。

表 3　研修医対象の勉強会、カンファレンス

	開催日	講師		タイトル
・研修医向け セミナー	4/10	エチコン		ステイプラー説明会＆ ハンズオン
	4/28	救急集中治療科	自見　孝一朗先生	救急初期診療
・研修医向け 講習会	5/22	藤田医科大学病院　教授	岩田　充永先生	救急カンファレンス
	5/27	救急集中治療科	自見　孝一朗先生	JATEC①
・その他夕方の 勉強会	6/1	救急集中治療科	自見　孝一朗先生	JATEC②
	6/11	感染管理認定看護師	浅田　瞳副看護師長	院内感染対策
・毎日(水曜日を 除く) ＥＲ症例振り 返り	6/15	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	6/22	呼吸器内科	石田　あかね先生	ERでの呼吸器内科疾患相談会
	6/25	救急集中治療科	自見　孝一朗先生	CPA
	6/30	腎臓内科	東　貴穂先生	電解質異常
・毎週（月） 内科症例カン ファレンス	7/9	救急集中治療科	自見　孝一朗先生	熱中症
	7/13	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	7/16	救急集中治療科	近藤　貴士郎先生	傷とナートの話
・隔週（火） 救急症例カン ファレンス	8/17	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	8/28	藤田医科大学病院 教授	岩田　充永先生	救急カンファレンス
	9/14	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	9/25	藤田医科大学病院 教授	岩田　充永先生	救急カンファレンス
	10/30	藤田医科大学病院 教授	岩田　充永先生	救急カンファレンス
	11/16	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	12/21	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	12/25	救急集中治療科	近藤　貴士郎先生	中毒・OD
	1/5	救急集中治療科	自見　孝一朗先生	低体温症
	1/7	救急集中治療科	森田　恭成先生	輸血
	1/18	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	2/8	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	2/9	救急集中治療科	森田　恭成先生	ショック
	2/16	整形外科	風間　悠介先生	ERでの整形疾患対応

			生田　健先生	
	2/19	救急集中治療科	金原　佑樹先生	IVRの話
	2/25	内科専攻医	林　絹子先生	COVID-19について
	3/8	総合内科	安藤　諭先生	Walk in カンファレンス
	3/19	救急集中治療科	金原　佑樹先生	大切なモノの明日を守るために- 東日本大震災から10年目の節目
	3/30	呼吸器内科	小暮　啓人先生	研修医の心得

他施設からの初期研修受け入れ

名城病院より7名（2名がER1ヶ月ずつ、5名は精神科を1ヶ月ずつ）
長寿医療センターより1名（ER 2ヶ月）
中部労災病院より9名（脳神経外科 1ヶ月ずつ）